

## 平成28年度 第5回教育研究評議会議事要録

日 時 平成28年9月15日(木) 14:30～16:45  
場 所 農学部 こぶし会館2棟 研修室  
出席者 三村学長, 尾崎理事, 太田理事, 袖山理事, 影山理事, 米倉副学長, 佐川人文学部長, 生越教育学部長, 折山理学部長, 馬場工学部長, 久留主農学部長, 木村全学教育機構長, 高橋図書館長, 田中評議員, 蓮井評議員, 荒川評議員, 小野寺評議員, 田内評議員, 吉田評議員, 増澤評議員, 中石評議員, 後藤評議員

欠席者 伊藤評議員

陪席者 増子監事, 中庭監事, 泉岡副学長, 栗原学長特別補佐, 横木学長特別補佐, 鈴木学長特別補佐, 森学長特別補佐, 原口学長特別補佐, 羽瀧学長特別補佐, 大塚執行部スタッフ, 西川執行部スタッフ, 総務部長, 財務部長, 学務部長, 学術企画部長, 総務課長, 大学戦略・IR室副室長, 労務課長, 財務課長, 学務課長, 留学交流課長, 各学部事務長

### 議 題

#### 審議事項

- 1 平成29年度茨城大学学年暦について
- 2 平成29年度からの茨城大学基盤教育について
- 3 大学教育センターにおける教育力向上プロジェクトの取扱い, 並びにプロジェクト教員の任期満了時の措置について
- 4 マレーシア科学大学と茨城大学との間における交流に関する合意覚書について
- 5 ブルネイ・ダルサラーム大学と茨城大学との間における学術交流に関する覚書及び学生交流に関する協定書について
- 6 教員の休職について
- 7 学部の課題について(農学部)
- 8 その他

#### 報告事項

- 1 教員の人事について
- 2 平成29年度サバティカル制度利用許可者について
- 3 ホームカミングデー2016の開催について
- 4 茨城大学地元就職推進委員会内規の制定及び関係規則等の改正について
- 5 平成27事業年度及び第2期中期目標期間に係る業務の実績に関する国立大学法人評価委員会のヒアリングについて
- 6 ファクトブック2016の公表について
- 7 平成28年度前学期TOEIC一斉テスト実施結果について
- 8 茨城大学基金の受入開始について
- 9 国立大学法人茨城大学学長アドバイザリーボードの設置について
- 10 平成28年度ダイバーシティ推進事業について
- 11 平成29年度概算要求について
- 12 茨城大学工学部と茨城県建設コンサルタント協会との連携に関する協定締結について
- 13 コンプライアンス関連合同研修の開催について

## 1 4 その他

### 議 事 概 要

#### I 審議事項

##### 1 平成29年度茨城大学学年暦について

学長から、審議願いたい旨の提案があり、太田理事から資料1に基づき説明があり、審議の結果、提案のとおり了承された。

##### 【主な意見】

- 学年暦の空欄部に、平成29年度より2学期クォーター制を導入するなどの説明を記載してはどうか。
- 予備日はどのように使うのか。また、第4クォーターの2月に予備日が集中しているのはどのようなことか。
- 予備日は原則として補講に活用する。また、試験前に補講を実施する観点から、祝祭日等を考慮すると平成30年2月はこのような学年暦になる。

##### 2 平成29年度からの茨城大学基盤教育について

学長から、審議事項としているが、平成29年度からの基盤教育について説明願いたい旨の提案があり、太田理事から資料2に基づき説明があった。

##### 【主な意見】

- 教育プログラムに係る全学共通科目について、これらは基盤教育に含まれるのか。
- 基盤教育科目の構成について、科目の位置付けなどが判るように記載してはどうか。
- 全学教務委員会などの議論について、各学部においても情報を共有していただき、協力しながら教育改革を進めていきたい。

##### 3 大学教育センターにおける教育力向上プロジェクトの取扱い、並びにプロジェクト教員の任期満了時の措置について

学長から、審議願いたい旨の提案があり、木村副学長から資料3に基づき説明があり、審議の結果、提案のとおり了承された。

##### 【主な意見】

- 教員の任期などについては、全学人事委員会で検討すべきではないか。
- 大学教育センターにおけるプロジェクトなど、全学教育機構へ引き継ぐ制度などについて審議いただきたい。なお、教員の任期などの人事については、全学人事委員会で検討する予定である。

##### 4 マレーシア科学大学と茨城大学との間における交流に関する合意覚書について

学長から、審議願いたい旨の提案があり、森学長特別補佐から資料4に基づき説明があり、審議の結果、提案のとおり了承された。

##### 5 ブルネイ・ダルサラーム大学と茨城大学との間における学術交流に関する覚書及び

学生交流に関する協定書について

学長から、審議願いたい旨の提案があり、森学長特別補佐から資料5に基づき説明があり、審議の結果、提案のとおり了承された。

## 6 教員の休職について

学長から、審議願いたい旨の提案があり、佐川人文学部長から資料その他1に基づき説明があり、審議の結果、提案のとおり了承された。

## 7 学部の課題について（農学部）

学長から、審議事項としているが、各学部における状況や課題等について説明願いたい旨の提案があり、久留主農学部長から資料その他2に基づき説明があった。

### 【主な意見】

- 教職科目担当教員審査について、大変厳しい審査であると思われるので対策を練る必要がある。
- 免許法の改正などもあり、全学FDを実施することを検討している。
- 科目ナンバリングの導入理由や導入時期はいつごろか。また、それらをどのように教育へ役立てているのか。
- 2年前に学部の横断的な基礎科目の設置などカリキュラム改革において導入した。効果については在学中であり今後検証していく。
- 前期日程の入試に英語を導入しているが、新入生の手応えや受験生の層などについてはいかがか。
- 前学期TOEIC一斉テストを実施し、その平均値の結果のみで全てを判断できないが、昨年度と比較すると点数は大幅に上がっている。今後、学年進行の推移を注目していく。
- 来年度から学生数が大幅に増加するが、学生のアパートや食堂などの福利厚生については、どのように検討されているのか。
- 学生のアパートについては、近隣の大学や阿見町などと協議しており、また、生協とは食堂や売店などについて情報交換している。

## II 報告事項

### 1 教員の人事について

学長から、資料6に基づき報告があった。

### 2 ファクトブック2016の公表について

横木学長特別補佐から、資料11に基づき報告があった。

### 3 茨城大学基金の受入開始について

基金室長から、資料13に基づき報告があった。

### 4 国立大学法人茨城大学学長アドバイザリーボードの設置について

総務課長から、資料14に基づき報告があった。

### 5 平成29年度概算要求について

袖山理事から、資料16に基づき報告があった。

### 6 コンプライアンス関連合同研修の開催について

尾崎理事から、資料18に基づき報告があった。

### 1.4 その他

- ・ 労務課長から、第1裁判の終結について報告があった。
- ・ 学長から、日越大学開学式について報告があった。

- ・佐川人文学部長から、人文社会科学部の設置及び大学院人文社会科学研究科への名称変更の認可について報告があった。
- ・馬場工学部長及び増澤評議員から、茨城大学国際シンポジウムの開催について報告があった。

### III 監事からの意見

- ・サバティカル制度について、平成26年度の臨時監査で指摘をしたが、今年度より本来の制度趣旨に基づく運用がなされてきており、より良い成果につながることを期待している。また、全学教育機構が平成29年度より本格的に稼働するにあたり、基盤教育など様々な課題について議論をされていることは結構であるが、一方で、全学教育機構を支える事務組織がどのようにあるべきか、どのようにしていくのかということについても並行して検討いただき、来年度のスタートに向けて万全を期していただきたい。
- ・阿見キャンパスの施設見学や、改革や課題などについての説明をいただき、勇気ある大きな決断のもと、改組に取り組みたと理解した。今、高校3年生は、希望の大学合格を目指して必死に勉強している時期ではあるが、センター試験終了までは受験する大学は流動的であるから、受験生の関心や期待を更に呼び込めるよう更なる改組のPRを期待している。次に、本学の英語教育について、平成29年度からの基盤教育では、総合英語プログラムを終了し、新たにプラクティカル・イングリッシュをスタートさせるとあるが、総合英語プログラムを担当されている教員の任期が終了するので、現在行われている総合英語プログラムの成果と課題について検証していただき、より効果のある英語教育が今後も実践されることを期待する。なぜなら、平成28年度前学期TOEIC一斉テストの実施結果について、一年生のレベル別の結果を見ると、英語力の高い学生が下のクラスに、英語力の低い学生が上のクラスに混在するなど適切なクラス分けが行われていないと推測され、また、学長と新入生との懇談会においても同様の意見が出されていることから、学生の学習意欲につながるクラス分けは非常に重要であると思われるからである。これらの学生の英語力の強化を図るプログラムは本学の大きな特色となり、より良い成果が出れば強みとなる。基盤教育で開講される他の科目も含め、科目の内容が学生の学習意欲につながることを期待する。

### IV その他

教育研究評議会会議資料の公開について

学長から、資料の公開について、以下のとおり確認があった。

非公開：資料その他1      それ以外は全て公開する。

次回 教育研究評議会開催

10月13日（木） 14時00分から